

書籍刊行のお知らせ

虎屋文庫『ようかん』

2019 年 10 月 30 日発行 A5 判／160 頁／2,420 円(税込)



このたび虎屋の菓子資料室・虎屋文庫*では、『ようかん』(新潮社)を発行することになりました。中国では羊肉の汁物だった羊羹が、日本で甘い菓子となり、人気者に。その長い歴史を追うとともに、虎屋と羊羹のエピソード、全国各地の名物羊羹など、多角的に紹介します。カラーグラビアでは、美しい季節の羊羹や菓子見本帳、羊羹を描いた錦絵、虎屋のパッケージなども取り上げ、視覚的にも楽しんでいただける内容です。

*虎屋文庫は、和菓子文化の伝承と創造の一翼を担うことを目的として設立された、和菓子の資料室です。様々な菓子資料を保存・整理・収集するとともに、展示の開催や機関誌の発行などを通して、和菓子情報を発信しています。

【内容紹介】

江戸時代、羊羹は5種類に進化した？！

従来、菓子としての羊羹の歴史は、まず蒸羊羹が作られるようになり、そこから煉羊羹が考案されたとして、蒸と煉の2種類のみで語られてきました。本書では、史料をもとに推測も交え、江戸時代の羊羹を5種類に分けて、その変遷を細かく読み解きました。煉羊羹誕生の陰に水羊羹の存在があったこと、古い時代の羊羹が、生菓子の製法「こなし(羊羹製)」として今に伝わっていることなど、新説も満載です。

珠玉の羊羹文学

羊羹について綴られた名文を集めました。「一個の美術品」(夏目漱石)、「瞑想的」(谷崎潤一郎)という表現から、これまで意識しなかった羊羹の美しさに気づかされたり、「桜の葉っぱの座ぶとん」(向田邦子)という言葉から、桜葉にのせられた涼し気な水羊羹が思い浮かんだり。想像が膨らみます。

虎屋と羊羹のエピソードも盛り沢山！

虎屋の最も古い注文記録(1635 年)には、既に「^(ようかん)やうかん」の文字が見えます。300 年以上前の意外な形をした羊羹の絵図、小形羊羹の誕生秘話、「ヨーカン大臣」と呼ばれた 15 代店主黒川武雄^{くろかわたけお}、「羊羹マイスター」の存在等々、虎屋と羊羹のエピソードは尽きません。

豊富なカラースタンプ 48 頁

江戸時代の名物双六、童画家^{たけい たけお}・武井武雄の作品をはじめ、絵画に見られる羊羹をご紹介します。虎屋関係では、季節を映した羊羹や、製造工程、小形羊羹のパッケージの変遷なども大公開。

【目次】

見る

I ようかんって素敵だ！

II 菓子見本帳

III ようかんギャラリー

IV 武井武雄の世界

V 全国のようかん

VI ようかんを楽しむ

VII 虎屋のようかん

読む

第1章 ようかん全史

第2章 ようかん好きは語る

第3章 原材料について

第4章 虎屋のようかんの歴史

第5章 全国のようかん

ようかんQ&A

全国のおいしいようかん

＊情報満載の「ようかん年表」も収録しています。



掲載画像の一例。

江戸時代の黄表紙に登場する羊羹和尚。頭に羊羹を載せている。

【購入方法】

全国の書店、インターネット書店にてご注文ください。

なお、とらや・TORAYA CAFÉ オンラインショップと、下記の直営店でも販売します。

赤坂店・TORAYA TOKYO・東京ミッドタウン店・銀座店・帝国ホテル店・日本橋店・御殿場店・

京都一条店・虎屋菓寮 京都一条店

※虎屋文庫での販売はございません。

【関連イベント】

① 4年ぶりの虎屋文庫資料展 再開御礼！「虎屋文庫の羊羹・YOKAN」展

11月1日（金）～12月10日（火）虎屋赤坂ギャラリー（とらや 赤坂店地下1階）にて
……本書で紹介した菓子や資料の一部もご覧いただけます。 休業日：11月10日（日）

<https://www.toraya-group.co.jp/toraya/bunko/reference-exhibition/79/>

② 虎屋文庫ブックストア

10月18日（金）～12月10日（火）赤坂店2階にて

……和菓子関連書籍を販売するほか、本書に関するトークイベントを行います。

<https://www.toraya-group.co.jp/toraya/news/detail/?nid=666>

【本件に関するお問い合わせ先】

〒107-0052 東京都港区赤坂4-9-9 赤坂 MKビル2階 株式会社 虎屋 虎屋文庫

電話 03-3408-2402 FAX 03-3408-4561

E-mail bunko@toraya-group.co.jp URL www.toraya-group.co.jp/toraya/bunko/